



学校教育目標 「生命(いのち)輝く子どもを育てる」  
一心はほかほか、学びはしっかり、体ははつらつー」



# とひの かふち

《学校だより》 第22号

令和3年3月5日発行  
湯河原町立湯河原小学校  
校長 北村 和裕

いよいよ3月になりました。冬の間は中庭や運動場に華やかな色はなく殺風景な印象でしたが、温かくなり花も咲き始めていろいろな色に染まっていくように思えます。3月と言えば、学校では今年度最後の月であり、各学年で学習やいろいろな活動のまとめをしているところです。コロナ禍で中止になったり規模を縮小したりしながらの教育活動が多かったのですが、知恵を出し合い工夫しながら着実に前に進んできました。これから卒業式や修了式があります。最後の最後まで、全校の子どもたち、保護者の皆さま、教職員が一体となって前に進んで行きましょう。



中庭の花壇の花も咲いて

## 6年生の奉仕活動〈はばたき活動〉

卒業まで残りわずかとなった6年生が、この湯河原小学校のために奉仕作業や製作活動を行っています。6年間過ごした校舎や中庭、一緒に過ごした1～5年生、お世話になった先生方、それぞれに対する感謝の思いを込めて一人ひとりが一生懸命に活動しています。この学校を巣立ち、新しい世界にはばたいていく6年生の思いを大切に受け止めたいと思います。

はばたき活動

奉仕作業・・・中庭の清掃、花壇の清掃

木製品製作・・・本棚、特別教室表示づくり

布製品製作・・・雑巾づくり、テレビカバーづくり

先生方へ・・・コースターづくり、メッセージカード



特別教室表示づくり



中庭の「心の庭」の整備



雑巾づくり

## 1人に1台のタブレット 準備が着々と

文部科学省の提唱する「GIGAスクール構想」により、湯河原町でも小・中学校に、校内LAN環境の整備が進み、子ども一人に1台のタブレットの配付や各教室に大型提示装置の設置がされました。このことによって、ICTを活用した学習活動の充実や情報活用能力の育成を図ることができます。

これから、子どもたちのタブレットの1台1台にIDやパスワードを設定し、

その子専用のタブレットにしていきます。また、タブレット機器の操作の仕方やソフトの使い方等について教師の研修を行います。ICTを活用した新たな取り組みですので試行錯誤の連続にはなりますが、「新しい学びのスタイル」を求めて子どもたちも教師も挑戦していきます。



タブレット



大型提示装置



タブレットの保管庫